

折に触れ 四字熟語

NO. 260 『一期一会』 いちご いちえ

< 意味 > 一生に一度だけの機会。生涯に一度限りであること。生涯に一回しかないと考えて、そのことに専念する意。もと茶道の心得を表した語で、どの茶会でも一生に一度のものと心得て、主客ともに誠意を尽くすべきことをいう。

< 出典 > 『茶湯きとう一会集』

表 言 : 一期一会のえにし

用 例 : 昔より、一期一会の心を旨とする直弼じゃ。今日という日は再びなく、今日の私は、明日の私では、無いのだぞ。<舟橋聖一・花の生涯>

語 釈 : 千利休の弟子宗二の『山上宋二やまのうえそうじ記』に「一期に一度の会」とあるのによる。「一期」は仏教語で、人が生まれてから死ぬまでの間の意。

一 言 : ご存知の四字熟語ですが、5月30日付けの goo 辞書四字熟語のランクで1位になっていました。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」